

しまねの河川と海岸だより



平成29年8月号



発行：島根県土木部河川課

〔目次〕

◆ アクアソーシャルフェス2017

第2回：堀川に生息する生き物を知ろう

河川課 企画調査G

◆ 第39回「全日本中学生水の作文コンクール」の結果について 河川課 管理G



アクアソーシャルフェス 2017

第2回：堀川に生息する生き物を知ろう

河川課企画調査グループ（『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会事務局）

『汽水の松江堀川』魅力アップ協議会では、全国でも珍しい汽水環境の堀で、国宝松江城を囲む松江堀川において、生態系の把握や啓発活動を目的に、平成27年度より一般参加の生き物調査を毎年開催しています。今年度はその生き物調査を、山陰中央新報社のイベント（アクアソーシャルフェス 2017「第2回：堀川に生息する生き物を知ろう」）と共催で行いました。

1. イベント概要

【開催日時】平成29年8月19日（土）9：00～12：00

【開催場所】会場：カラコロ広場

調査箇所：京橋川、城山内堀川（松江城大手門前、千鳥橋付近）

【主な内容】参加者：約100人

捕獲調査（釣り、投網、カゴ罠など）、水質調査、活動報告

2. 捕獲調査結果・活動状況

釣り、投網、カゴ罠などで計25種類の生き物を捕獲しました。希少種のミナミメダカ、シンジコハゼに加え、協議会として活動してきて初めてイシガメ（在来種）、ウナギも捕獲できました。

※捕獲した生き物のうち、在来種はイベント終了後にリリースし、外来種はホシザキグリーン財団に生態調査のために持ち帰ってもらっています。

活動状況写真

		
生き物の観察をする参加者	参加者に説明をするスタッフ	ワナの回収をする参加者
		
水質調査をする参加者	タモ網で生き物を探す参加者	釣りをする参加者

調査結果

種類	名称	数量 (個体)				生活域	備考
		釣り	カゴ罟	投網・タモ	合計		
魚類	ブルーギル	0	1	0	1	淡水	特定外来種
	フナ類	3	3	2	8	淡水	
	ナマズ	0	1	0	1	淡水	
	ヌマチチブ	0	14	2	16	回遊	
	ミナミメダカ	0	0	多数	多数	淡水	希少種
	シンジコハゼ	0	0	2	2	汽水・海水	希少種
	ウロハゼ	8	1	0	9	汽水・海水	
	ボラ	1	0	2	3	汽水・海水	
	スズキ	5	1	1	7	回遊	
	マハゼ	4	0	0	4	汽水・海水	
爬虫類	ウナギ	0	1	0	1	回遊	
	ミシシippアカミミガメ	0	6	0	6	淡水	緊急対策外来種
	クサガメ	0	10	0	10	淡水	在来種 (外来種説あり)
	スッポン	0	1	0	1	淡水	
甲殻類	イシガメ	0	1	0	1	淡水	
	テナガエビ	0	12	0	12	汽水・海水	
	スジエビ	0	2	15	17	淡水	
	シラタエビ	0	1	0	1	汽水・海水	
	モズクガニ	0	1	0	1	淡水	
貝類	フナムシ	0	0	2	2	海水	
	ヤマトシジミ	0	0	10	10	汽水・海水	
	カワザンショウガイ	0	0	多数	多数	汽水・海水	
昆虫類	ヤゴ類	0	0	20	20	淡水	
	アメンボ類	0	0	15	15	-	
	ゲンゴロウ類	0	1	0	1	-	
合計		21	57	71	149		

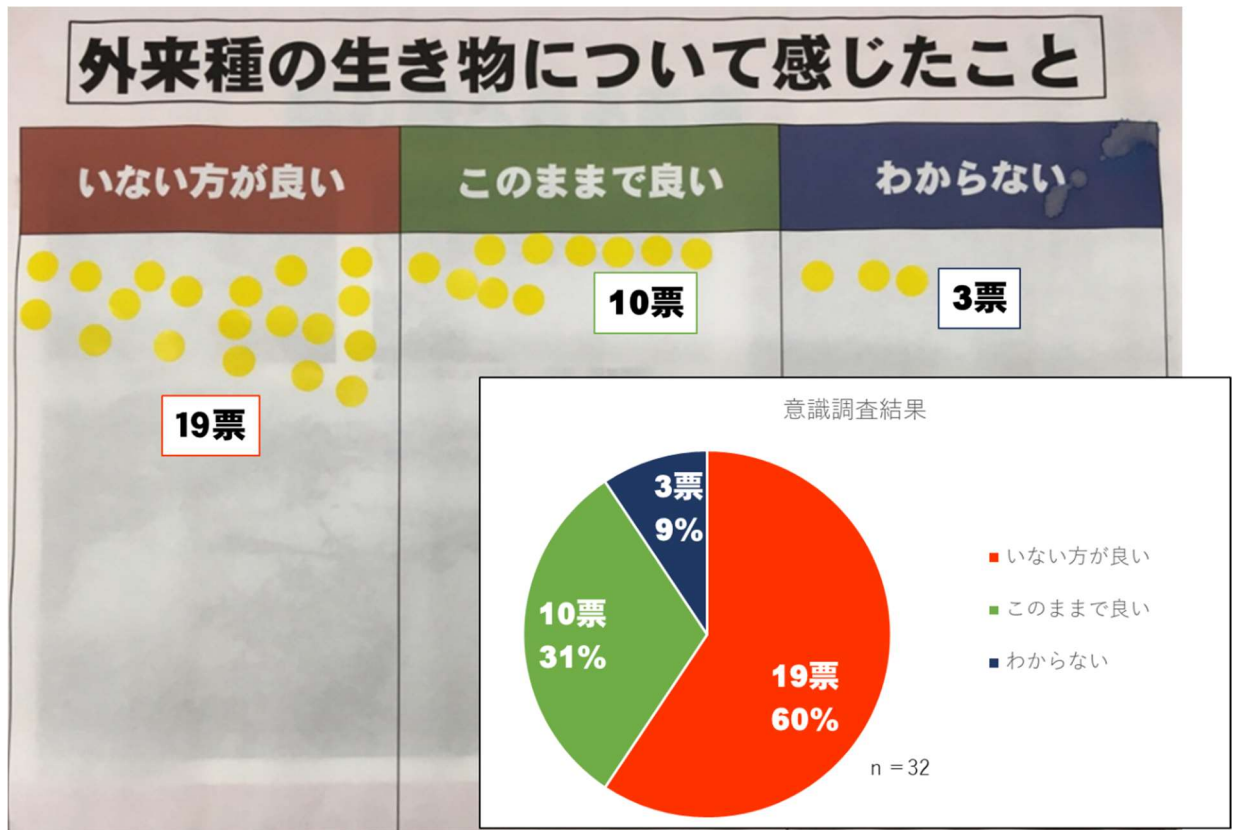
※合計数にミナミメダカ、カワザンショウガイ分は含んでいません

捕獲した生き物

		
ウナギ	ナマズ	イシガメ
		
クサガメ	スッポン	ミシシippアカミミガメ (緊急対策外来種)

3. 外来種への意識調査結果

参加者の方に任意で外来種への意識調査を行いました。『外来種の生き物について感じたこと』という質問に対して32人に回答をいただき、「いない方が良い」に19票（全体の60%）の回答をいただきました。調査に参加していただいていることもあり、外来種への問題意識がある人が多い結果となりました。



4. 結果まとめ

今回の調査では川の生き物（ミナミメダカやスッポン等）も海の生き物（シンジコハゼやテナガエビ等）も捕獲でき、参加者の方々に多様な生き物がある汽水の環境を感じてもらうことができました。また、ミシシippアカミミガメ等の外来種も捕獲され、繁殖力が強く在来種へ影響を与える外来種の問題についても知ってもらうことができました。今後も今回のような一般参加者型の生き物調査を継続して行っていきたいと思います。

第39回「全日本中学生水の作文コンクール」の結果について

河川課管理グループ



私たちが生きていくうえで欠かせない「水」の貴重さ、重要性について理解と関心を深めるため、国では毎年8月1日（水の日）から1週間を「水の週間」と定め、様々な行事を行っています。この行事の一環として、次代を担う中学生を対象に、水について理解を深め、考える機会とする「全日本中学生水の作文コンクール」を実施しています。

そこで、河川と海岸だより7月号でも掲載しました、島根県中学生「水の作文コンクール」の入賞2作品を「全日本中学生水の作文コンクール」に推薦したところ、下記のとおり受賞が決定いたしました。

【入選】

松江市立八雲中学校 1年 石倉 要 さん

「命とつながる水と生きる」

【佳作】

出雲市立斐川西中学校 3年 松井 悠 さん

「水に守られる私たちの世界」



水は、海から蒸発し、雨となって地上に降り、川を流れ、地下にしみこみ、また蒸発して永遠の循環を繰り返しています。その中で私たちは、本当に様々な場面で水の恩恵を受けています。

この水の作文コンクールを通して、改めて「水」について考える機会となれば幸いです。次年度も、一人でも多くの中学生の皆さんのご応募をお待ちしております。

【編集後記】 河川課 企画調査グループ 金村

今月は、山陰中央新報社のイベント（アクアソーシャルフェス 2017）と共催で生き物調査を行いました。これまでは「投網」及び「ワナ」のみの調査でしたが、今年度は新たに「釣り」を追加しました。事務局で行う練習ではあまり成果が出ず不安な部分もありましたが、本番では釣りだけでも5種類21個体を捕獲でき、参加者の皆さまに楽しみながら堀川の水環境について知っていただけたと思います。

さて、島根県河川課では、今後も河川・海岸に関する話題・情報を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>